

# 熱中症対策強化中!!



いつもと違うと思ったら、熱中症を疑おう！

あれっ、何か違うゾウ



あの人、様子がおかしいゾウ



手足がつる

イライラしている

立ちくらみ・めまい

フラフラしている

吐き気

何となく体調が悪い

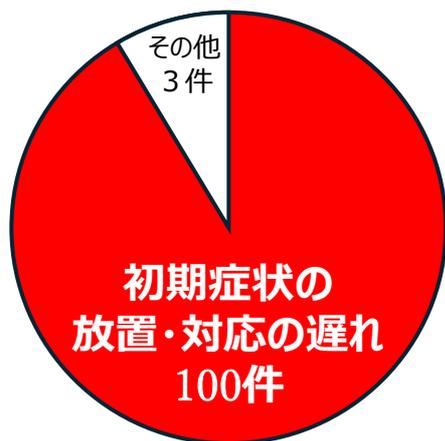
呼びかけに反応しない

汗が止まらない/汗が出ない

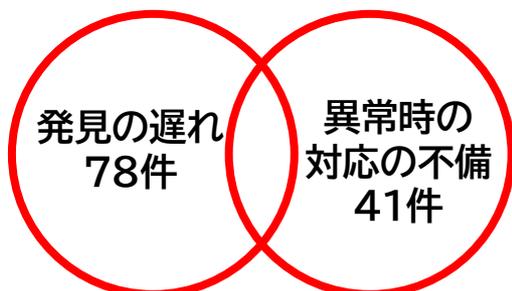
すぐに疲れる

ぼーっとしている

熱中症は初期対応が重要！



100件の内容



熱中症による死亡災害の傾向

ほとんど  
「初期症状の放置・対応の遅れ」

早急に求められる対策

死亡に至らせない（重篤化させない）  
ための適切な対策の実施が必要

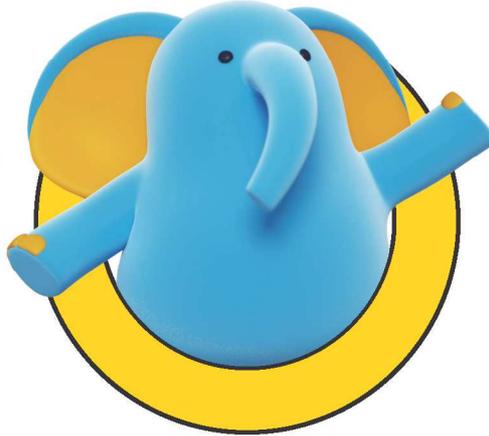


# 熱中症の重篤化を防止するため 現場における対応を義務化

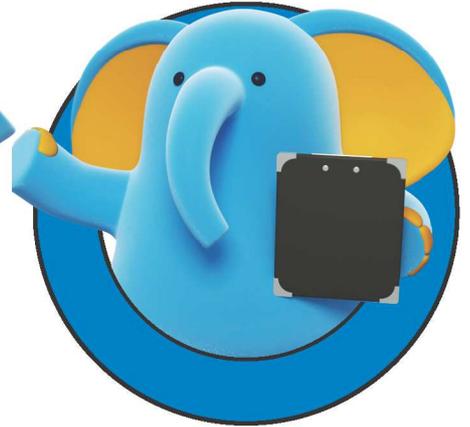
改正労働安全衛生規則施行（令和7年6月1日）



見つける



判断する



対応する

「**WBGT28度以上**又は**気温31度以上**の環境下で  
**連続1時間以上**又は**1日4時間を超えて実施**」が見込まれる作業

①

「熱中症の自覚症状がある作業員」や  
「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」が  
その旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。

②

熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に  
迅速かつ的確な判断が可能となるよう、

- ① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先  
及び所在地等
- ② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送当熱中症による  
重篤化を防止するために必要な措置の実施手順  
の作成及び関係作業員への周知。

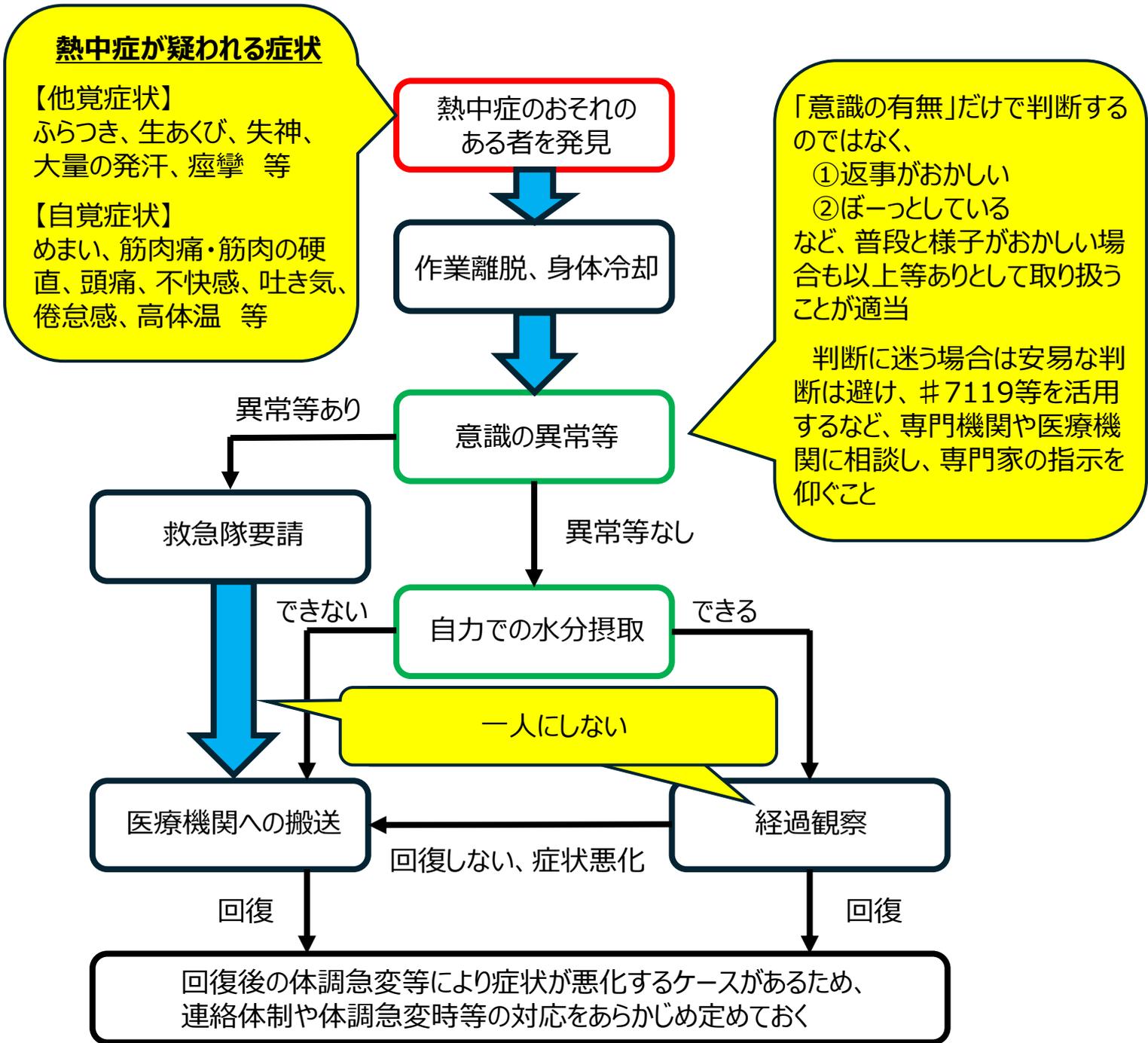
## 「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」



キャンペーン実施要綱 ▶



# 熱中症のおそれのある者に対する処置の例（フロー図）



## 体制や手順の周知方法例

※ 周知は口頭でも問題ないゾウ。  
ただし、口頭による周知では確実に伝わることを担保できないときは、文書の配布や掲示等により周知するゾウ。

※ 周知結果の記録の保存は必要ないけど、労働基準監督署の調査の際には説明できる必要があるゾウ。



朝礼やミーティング

会議室や休憩所等への掲示

メール等での通知

# 熱中症の原因と発生しやすい職場の条件

## 蒸し暑い環境

- ・ 高温多湿で無風
- ・ 炎天下・照り返し
- ・ 機械等が密集

## 身体負荷の高い作業

- ・ 筋力を使う作業
- ・ 長時間作業
- ・ 休憩を取れない作業

## 体調が悪い

- ・ 二日酔い
- ・ 寝不足
- ・ 下痢（脱水症状）

## ① WBGT値の活用

WBGT  
値

暑熱環境による熱ストレスの評価を行う暑さ指数

熱中症の発症に関与するとされている**4要素（気温、湿度、日射、気流）**を総合的に評価したもの。

### 気温

気温と体温の差が小さいと放熱が小さくなる。体温よりも気温が高いと空気から熱をもらう

### 日射・放射

太陽からの強い日射や道路や建物などからの放射で多くの熱をもらう

### 湿度

高いと汗の蒸発(気化)が進まず、放熱が小さくなる

### 気流（風）

風が吹くと放熱や汗の蒸発(気化)が促進される

気温や湿度が高い場合、日射・放熱が強い場合、風が弱い場合は、熱中症リスクが増大するゾウ。

## ② 熱中症予防対策

### 作業環境管理

- (1) WBGT値の低減等
- (2) 休憩場所の整備等

### 作業管理

- (1) 作業時間の短縮等
- (2) 暑熱順化
- (3) 水分及び塩分の摂取
- (4) 服装等
- (5) 作業中の巡視

### 健康管理

- (1) 健康診断結果に基づく対応等
- (2) 日常の健康管理等
- (3) 労働者の健康対応の確認
- (4) 身体の状況の確認

### 労働衛生教育

- (1) 熱中症の症状
- (2) 熱中症の予防方法
- (3) 緊急時の救急処置
- (4) 熱中症の事例

### 救急処置

- (1) 緊急連絡網の作成及び周知
- (2) 救急措置

熱中症から

仲間を守るゾウ!!